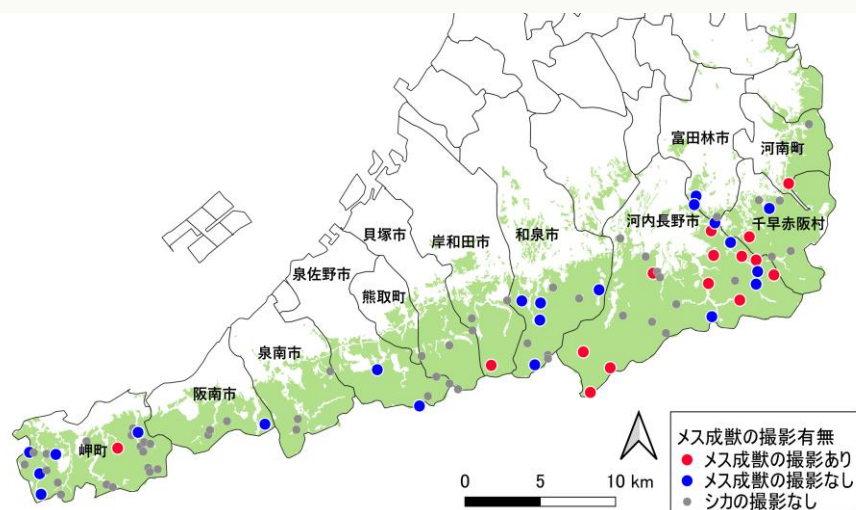


シカの捕獲にご協力ください



シカの分布が拡大しています！

近年のシカの分布拡大に伴い、大阪南部においてもシカの親子やメスの出没が確認されています。メスの定着が進むと急速にシカが増加する恐れがあります。今後のシカによる農林業被害拡大の防止に向け、出没初期段階の捕獲が大変重要です。積極的な捕獲にご協力をお願いいたします。



大阪府南部のシカの撮影状況（2025年8月～2026年8月）
カメラ設置台数：約90台



シカの親子（R7.7月河内長野市東部）



メス成獣（R7.10月河内長野市東部）

大阪南部でシカを捕獲したら

友ヶ島（和歌山市）からの外来交雑シカの進入状況を把握する調査を行っています。南部でシカを捕獲された場合は、当所にご連絡の上、検体のご提供にご協力ください。

大阪府立環境農林水産総合研究所 電話番号 072(833)2770
生物多様性センター 野生鳥獣担当 FAX 072(831)0229

シカによる被害と痕跡

シカが増えることによる影響

シカが増加すると、農作物への被害が大きくなります。
また、山の植物が減るなど、自然環境への被害も発生します。



農作物被害



樹皮はぎ



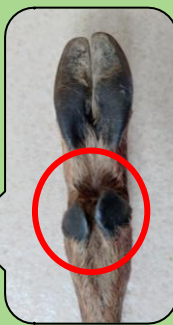
下草の消失

痕跡の判別

イノシシと比べ副蹄の跡がつかないことが多い。
副蹄の跡がつく場合は、蹄の真後ろにつく。



シカの足跡



副蹄



イノシシの足跡



副蹄



角研ぎ跡



シカのフン：俵型



ウサギのフン：厚みのある円盤型

写真提供：株式会社野生鳥獣対策連携センター